

高速道路建設・整備促進等に関する要望

第五十回定期総会において、別記のとおり満場一致で決議いたしましたので、特段の措置を講ぜられるよう強く要望いたします。

全国高速自動車道市議会協議会 会長 熊谷寿人

(福山市議会議長)

決 議

高速道路は、物流ネットワークの構築や広域周遊観光の促進に資するなど、我が国の経済発展に不可欠な大動脈として重要な役割を担っている。

さらに、近年、頻発・激甚化する大規模自然災害に対して、避難や救急救命・復旧活動等を支える「命の道」としての機能を発揮している。

しかしながら、整備が大幅に遅れている区間が未だ多く残されており、特に今般発生した能登半島地震では未整備地域における救助活動・物資輸送に大きな障害となっている。

また、全国的な課題としては、既存区間における暫定2車線の4車線化や老朽化対策、防災機能の強化などが急務となっている。

よって、本協議会の総意をもって、特に次の事項について強く要望する。

記

- 一、ミッシングリンクを解消するため、全国的高速道路の早期整備を推進すること。
- 一、暫定2車線区間においては、4車線化の早期かつ着実な実現を図ること。
- 一、道路整備等を安定的に実施できるよう、建設資材高騰や労務費の上昇を踏まえた財源の確保に万全を期すこと。
- 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の迅速な事業推進を図るとともに、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、災害に強い道路ネットワークを構築すること。
- 一、地震や豪雨、豪雪などの災害時でも交通機能を維持できるよう、高速道路の一層の危機管理強化を図ること。また、高速道路を利用した、津波や洪水の緊急避難場所の確保など、防災に資する対策の推進を図ること。
- 一、老朽化が進む高速道路の安全・安心のため、予防保全に十分な財源を確保するとともに、維持管理・更新に関する新技術の開発・導入について一層の支援を図ること。
- 一、多重衝突や大型車両による事故など、重大事故に対する万全な安全対策を講じること。
- 一、物流の効率化、地域活性化、利便性の向上等を促進するため、渋滞対策やインターチェンジの整備促進、サービスエリアのEV充電施設や水素ステーションの整備などの推進を図ること。
- 一、高速道路周遊パスなど、観光需要の喚起が期待される取り組みについて支援を図ること。

以上、決議する。

令和六年二月一日